

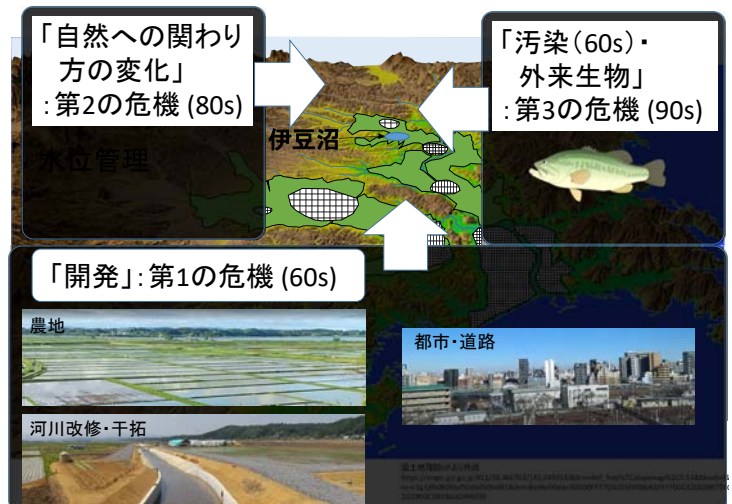
宮城大学周辺



仙台港



古川



マガンの飛び立ち 伊豆沼・内沼を代表する光景



タモロコ







1-6-(2) 魚類 (40 種)

上流域(谷津田)

- ギバチ
- スナヤツメ
- アブラハヤ
- シマドジョウ

伊豆沼・内沼

- ゼニタナゴ
- モツゴ
- キンブナ

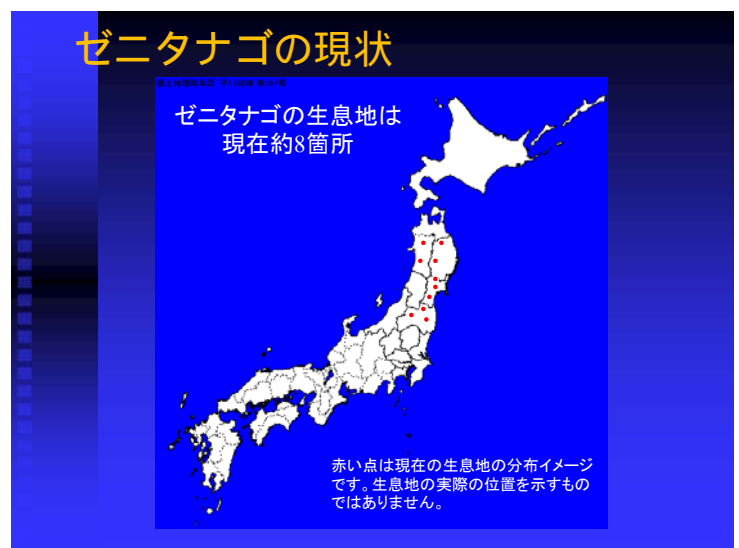
水田

- ドジョウ
- ナマズ

河川・海

- ウグイ
- ウナギ

伊豆沼・内沼の魚類はコイ科魚類を中心に東日本の平野部を代表する魚類が生息している。



ゼニタナゴの現状

ゼニタナゴの生息地は
現在約8箇所



生息地のイメージ

赤い点は現在の生息地の分布イメージ
です。生息地の実際の位置を示すもの
ではありません。



伊豆沼・内沼は水田地帯に囲まれた沼

伊豆沼・内沼
毎年数万羽の水鳥が越冬する国内最大級の水鳥の越冬地
宮城県最大の天然湖沼
天然記念物・鳥獣保護区・ラムサール条約登録湿地



ガガブタ(絶滅危惧種)



チョウトンボ



カイツブリ



アサザ(絶滅危惧種)



ミズアオイ(絶滅危惧種)



メダカ(絶滅危惧種)



ゼニタナゴ(絶滅危惧種)

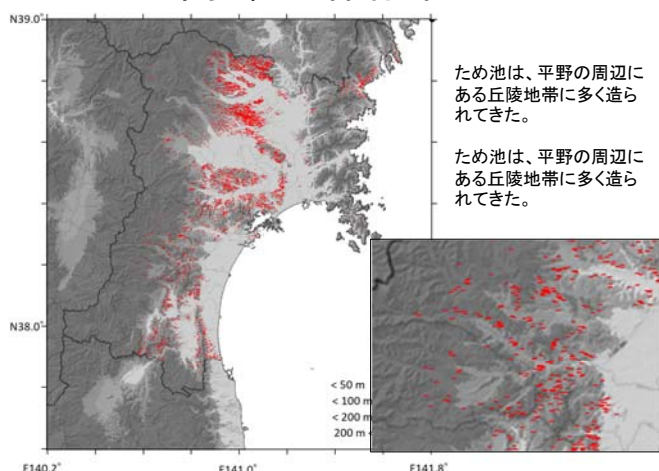


カラスガイ(絶滅危惧種)

伊豆沼・内沼は湿地の生き物の宝庫
沼では1500種以上の生き物が確認されている。全国的にも貴重になっている絶滅危惧種も見られ、伊豆沼・内沼は湿地の生き物の貴重な生息地となっている。

宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団の活動
財団では、これらの生き物を守り、その生物多様性を将来世代に残していくため、さまざまな活動に取り組んでいる。

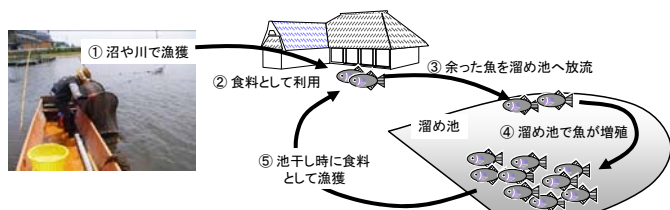
ため池は希少種の保存庫



ため池の生き物

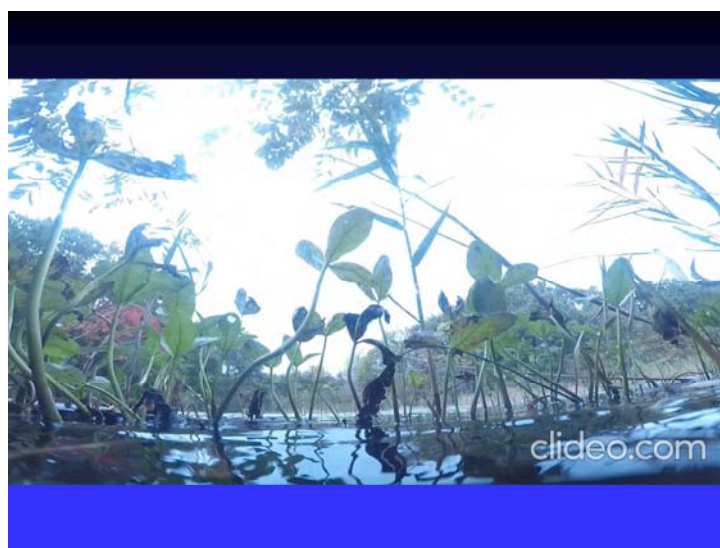


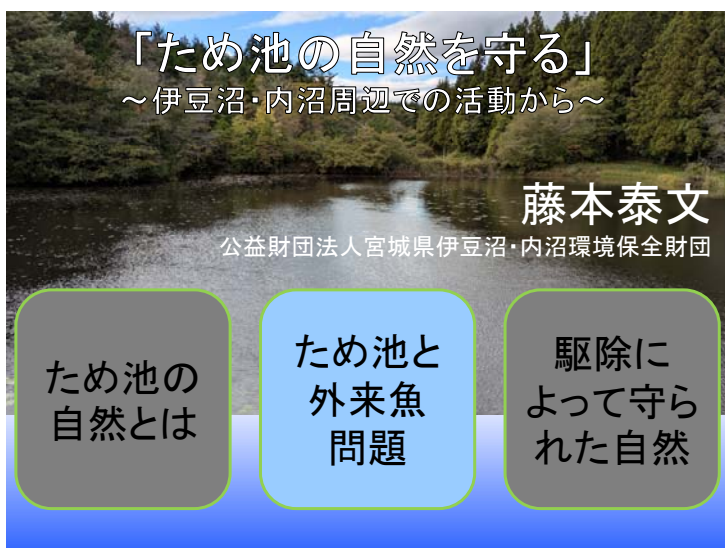
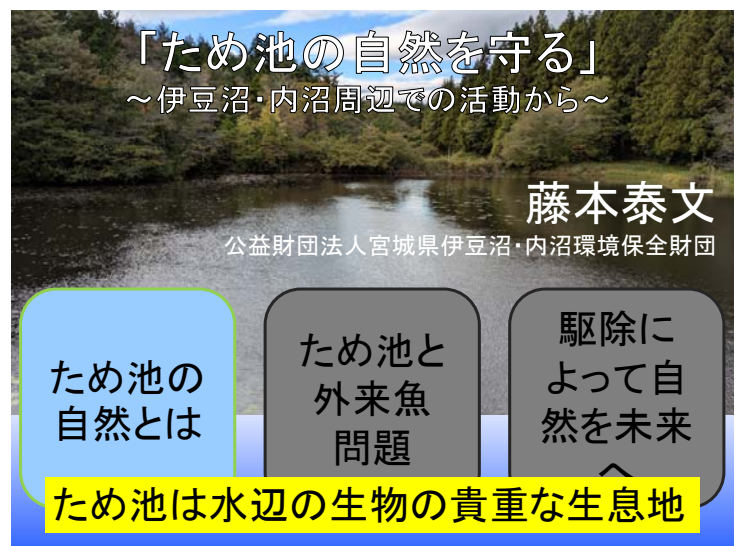
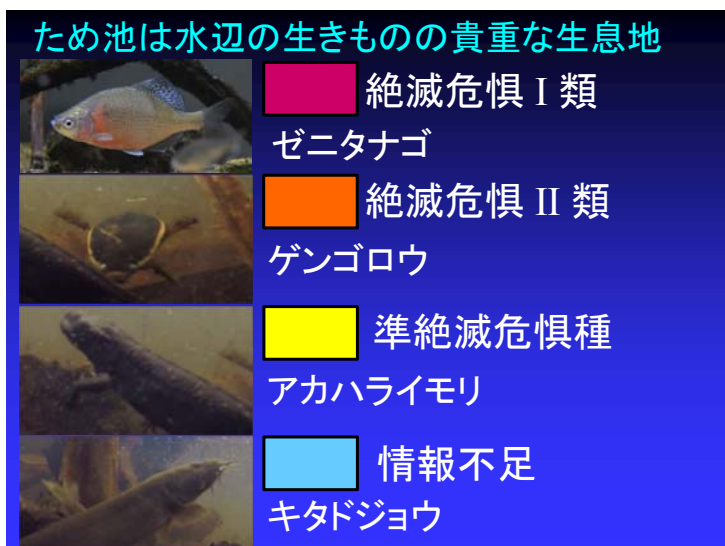
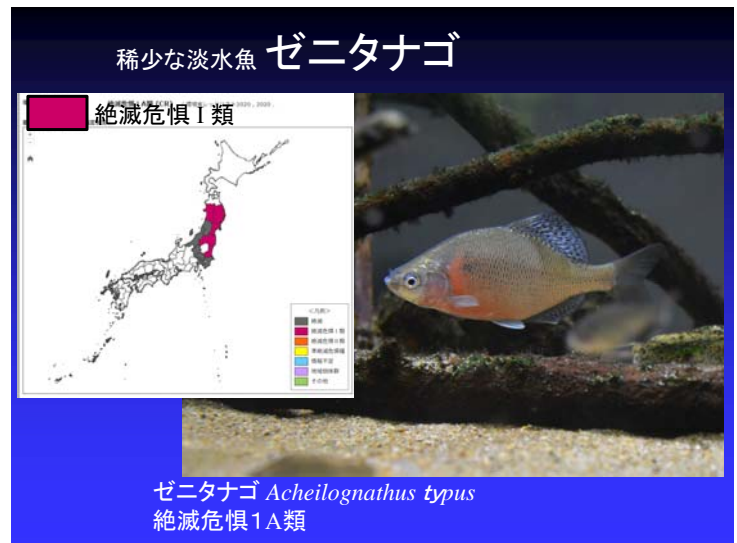
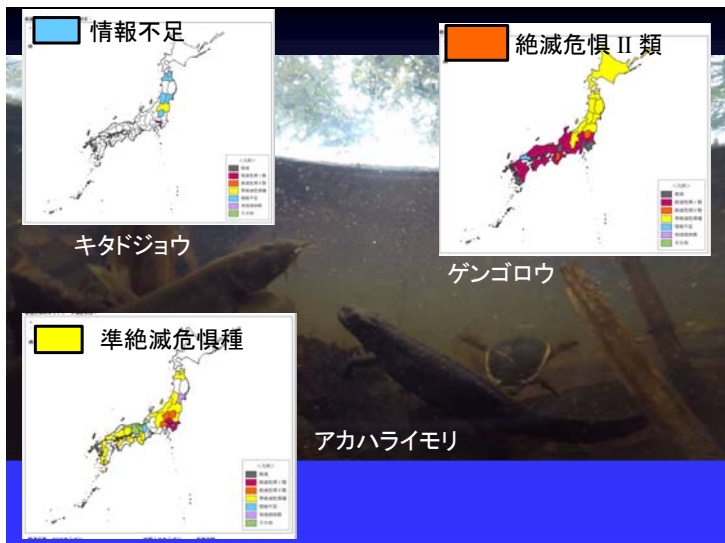
食料確保を目的とした、淡水魚の溜め池への移植活動



食糧確保を目的としたかつての地域活動が、
溜め池に魚類の保存庫としての役割をもたらした。

生息地のイ
メージ







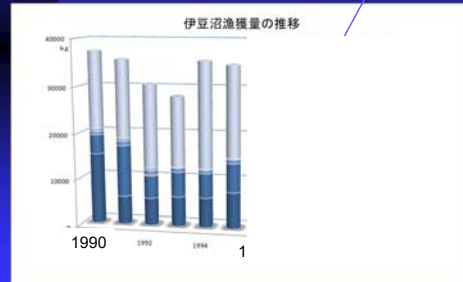
1.伊豆沼・内沼におけるオオクチバスの影響



伊豆沼・内沼
・宮城県北部
・面積 378 ha
・湖岸長 20 km
・県最大の湖

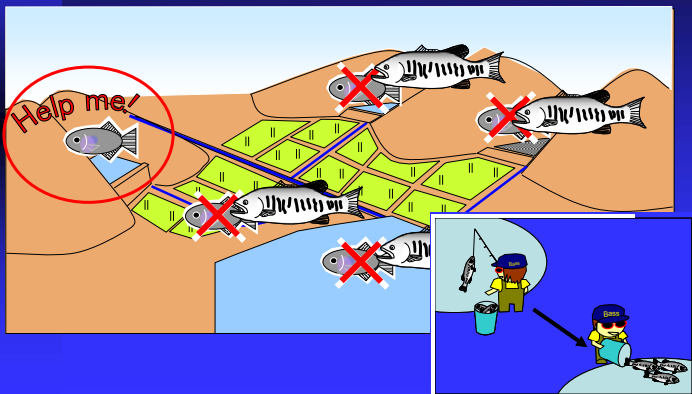
オオクチバス(赤)の増加後
漁獲量が1/3に減少

特に小型魚(水色)が影響を受けた。



オオクチバスは密放流などによって

移入した先々で地域の水生生物を少しずつ
絶滅させていったと考えられる。



調査地



生息地の場所の概況を示す
イメージ図です。実際の調査地
とは異なります。

3,000㎡以下の
面積のため池に
右の水生生物など
約9,000個体
が生息。



タナゴ
(約4,500個体)



トウヨシノボリ
(約1,300個体)



ヌカエビ(スジエビ少)
(約2,000個体)



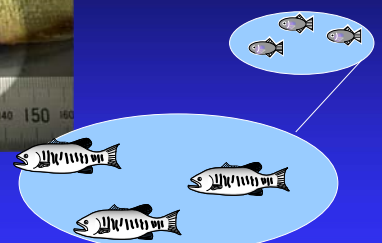
アメリカザリガニ
(約1,200個体)

絶滅危惧種(タナゴ)の生息地であり、月2回生態調査を実施。

オオクチバスによる食害



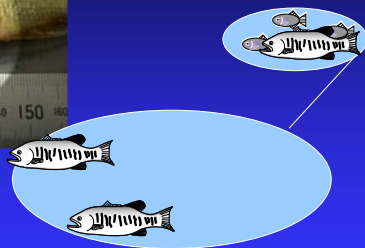
オオクチバス



オオクチバスによる食害

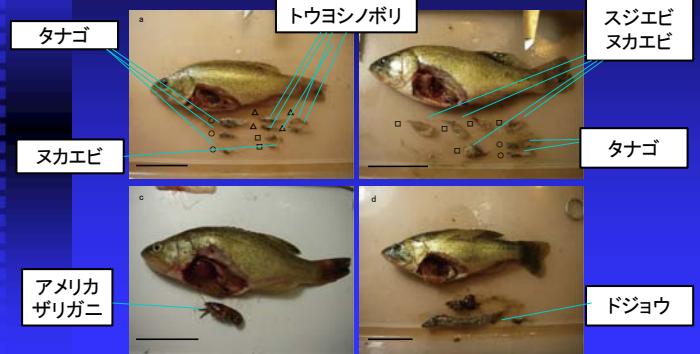


オオクチバス



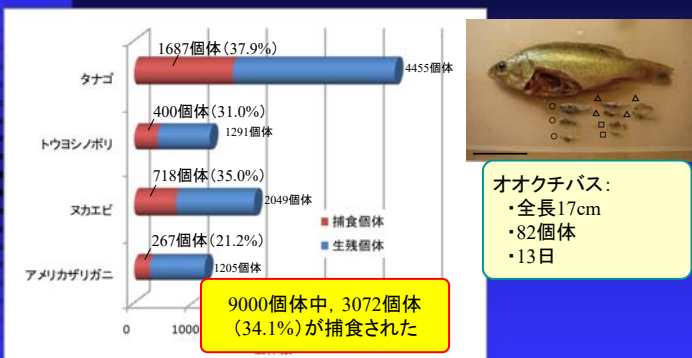
オオクチバスの胃内容物(1)

ため池に侵入したオオクチバスは、合計82個体であった。
平均全長170 mm(体長140 mm)の1歳魚であった。



2.88個体の魚介類

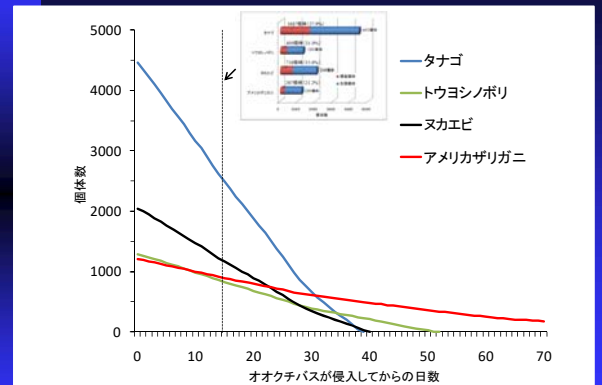
オオクチバスによる捕食数・捕食率



オオクチバス:
・全長17cm
・82個体
・13日

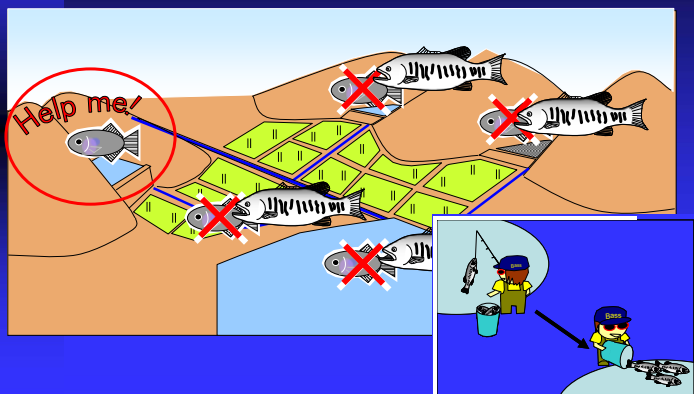
2.88個体の魚介類 × 82個体 236.2個体の魚介類
236.2個体の魚介類 × 13日間 3072個体の魚介類

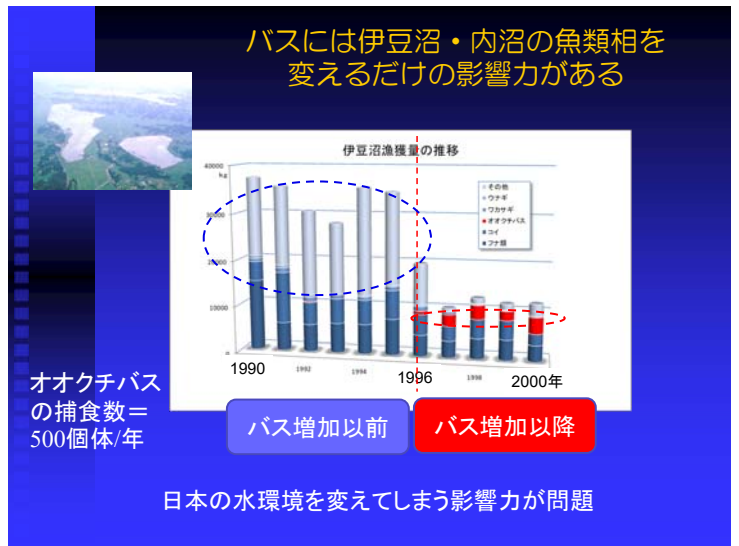
もし、バスを放置していたら・・・



約40-50日でほとんどの生物が全滅していた。と考えられる。

日本各地の移入先で在来魚を絶滅させてきた
可能性は十分にありうる。





農業用水抜かれる 水門を勝手に開放 栗原のため池 /宮城県

朝日新聞 2007.08.23 東京地方版/宮城 27頁 宮城全県 写真有 (全666字)

栗原市潮峰寺沢で、ため池の農業用水が何者かによって抜かれ、地元の関係者が憤っている。ため池は釣り人の間ではブラックバスなどが釣れる隠れた「名所」として知られ、以前からごみを捨てるなどマナーが問題になっていた。地元の関係者は「これが何度も続く死活問題につながる」と、立ち入り禁止の看板を立てるなどの対策に乗り出した。

水が抜かれる事件があったのは先月上旬。3カ所ある池のうち、下流にある2カ所の池の水門の栓が抜かれて、水が外に流れた。関係者が気づいたときには1メートル以上あった水位がほとんどなくなっていたという。

その後雨が大量に降ったため水位は上がったが、「一歩間違えれば種が全滅していた」と農家の小野寺忠八さん(59)は話す。

池は四方を小高い丘に囲まれ、雑木林などが生い茂り、周りに民家もないことから以前から好釣り場として同好者のホームページに取り上げられていた。近年にはブラックバスが繁殖して各地から釣り人が訪れるようになり、ゴミを捨てたり、池のほとりでパーベキューをしたりする人が続出。なかにはボートが何艘も勝手に停留していたこともあったという。

今回の事件の背景は分かっていないが、農家側は警察に被害届を出してパトロールの強化を要請するとともに、「立ち入り禁止」の看板を立てて釣り人らの出入りを禁止する対策を講じることにした。

小野寺さんは「最初は釣りをするぐらいならと大目に見ていたが、我慢も限界。マナーを守らない人のために我々の生活が脅かされるのはたまらない」と語る。

【写真説明】

水を抜かれ、水位が下がったため池＝栗原市潮峰寺で

朝日新聞社

ブラックバス殺したら爆破 嫌がらせメールの中学生指導 富山

NHKニュース 2000.12.26 NHKニュース (全444字)

富山県警察本部に魚のブラックバスを殺したら爆破するなどと嫌がらせの電子メールを送っていたとして、十四歳の男子中学生が軽犯罪法違反の疑いで、きょうまでに警察に捕縛されました。

警察によりますと、この少年は県西部に住む中学三年生の十四歳の男子生徒で、今月十七日、富山県警察本部のホームページに「ブラックバスを殺したら爆破してやる」となどという文面の電子メールを送って、嫌がらせをした軽犯罪法違反の疑いをもたれています。

警察がメールの発信元を突き止めて事情を聴いたところ、少年はメールを送ったことを認めました。


少年はブラックバス釣りが趣味だということで、ため池にブラックバスを密かに放流した会社員が先月、全国で初めて富山県警察本部に検挙されたことや、生態系を乱すとして全国の河川でブラックバスを駆除していることに反発してメールを送ったと話しています。

少年は「これ以上ブラックバスを殺してほしくないと思い、深く考えずにメールを送ってしまった。深く反省しています」と話しているということです。

NHK


ブラックバスの社会的問題

ブラックバス釣り = Game Fish



ゲーム: 手軽に結果(快樂)が得られる。
ゲームのやりすぎは切れやすい性格に。
違法放流。爆破メール。ため池の水を抜く。子どもの死亡

業界による
ブームの仕掛け
簡易で中毒性




山梨県
河口ダム貯水池におけるコクチバス(スモールマウスバス)を目的とした釣りの禁止について

Inkscape 作品集HPより: <https://dollsnet.jp/?p=...>

セヴァン・スズキ@リオ 1992

YouTube SuperScope 2012/09/04



こんにちは、セヴァン・スズキです。
エゴを代表してお話しします。

「・・・あなたたち大人にも知ってほしいのです。オゾン層にあいた穴をどうやってふさぐのか、あなたは知らないでしょう 死んだ川にどうやってサケを呼びもどすのか、あなたは知らないでしょう。絶滅した動物をどうやって生きかえらせるのか、あなたは知らないでしょう。そして、今や砂漠となつてしまった場所にどうやって森をよみがえらせるのか、あなたは知らないでしょう。どうやって直すのかわからないものを、こわしつづけるのはもうやめてください。・・・」

「ため池の自然を守る」
～伊豆沼・内沼周辺での活動から～

藤本泰文
公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

ため池の自然とは

ため池と外来魚問題

駆除によって自然を未来へ

ため池は身勝手な放流行為で壊されてきた

「ため池の自然を守る」
～伊豆沼・内沼周辺での活動から～

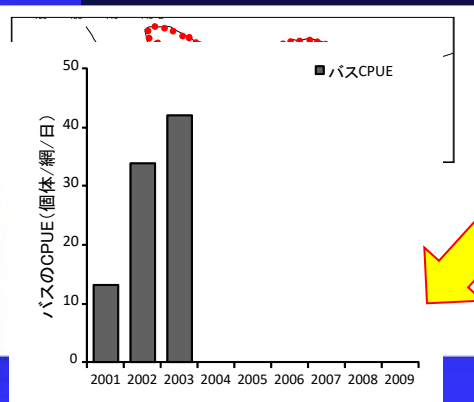
藤本泰文
公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

ため池の自然とは

ため池と外来魚問題

駆除によって自然を未来へ

伊豆沼・内沼での初期の駆除活動.



定置網によるバス駆除開始!!(2001)



Original item: Artificial spawning nest



Elimination of eggs and adults protected nest by artificial spawning bed.
Active of voluntary group called by "Bass Busters".



新技術の導入(電気ショッカーボート)



発電器で電気を起こし、船から突き出たアームから水中に電気を流す。最大1000vの電流を流して魚を一瞬気絶させ、バスやギルだけをすく。





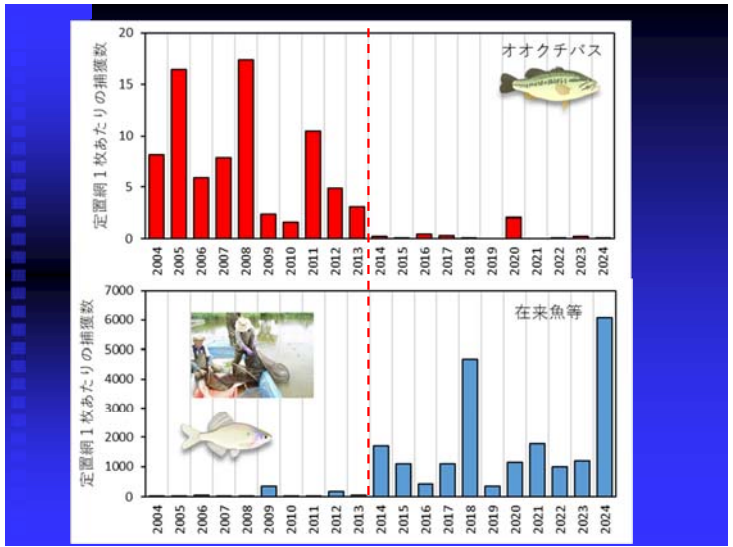
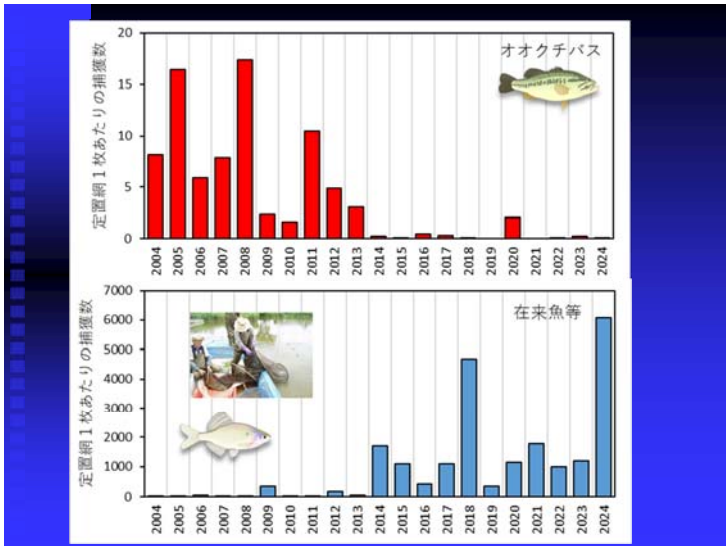
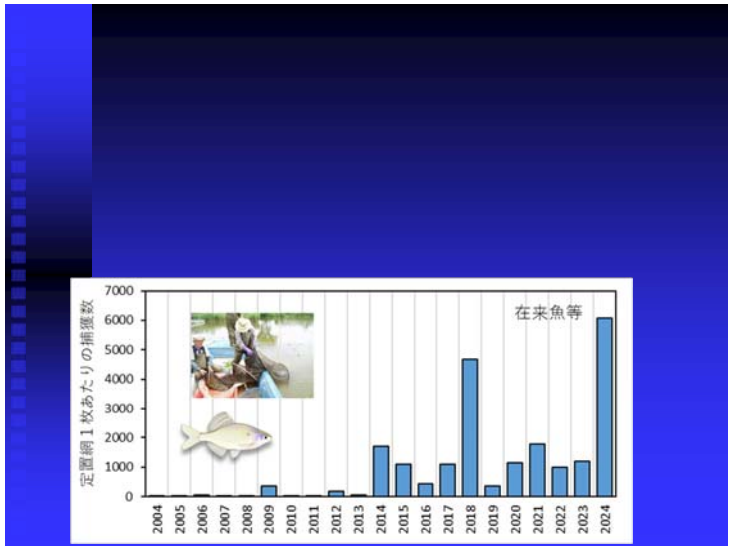
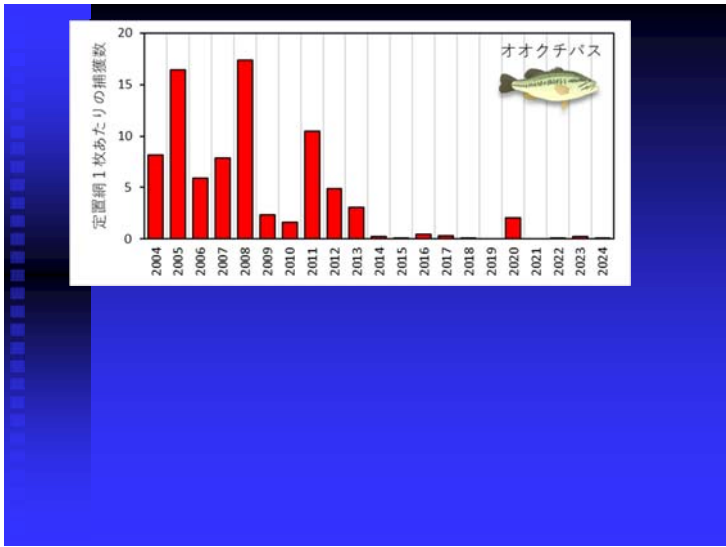
外来魚駆除 シビレる成果

高圧放電 気絶状態に
バス69匹生け捕り

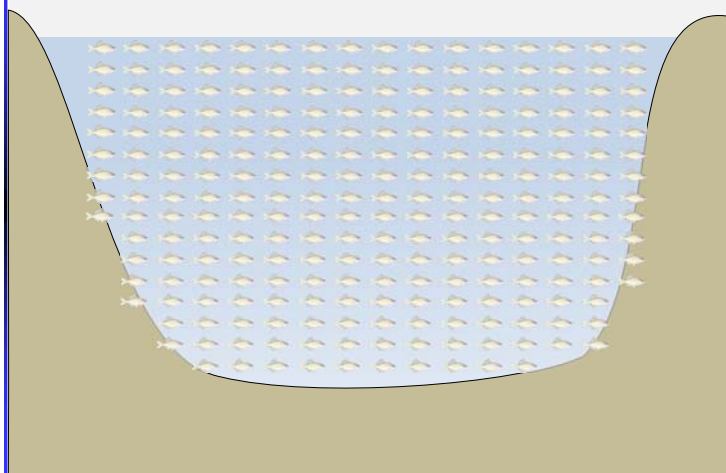
くろますびっくりまる
黒鯽吃驚丸

まさに
びっくり！
の効果

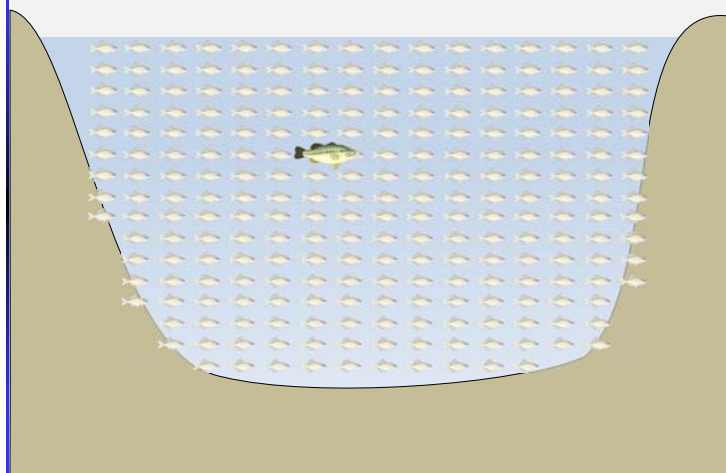


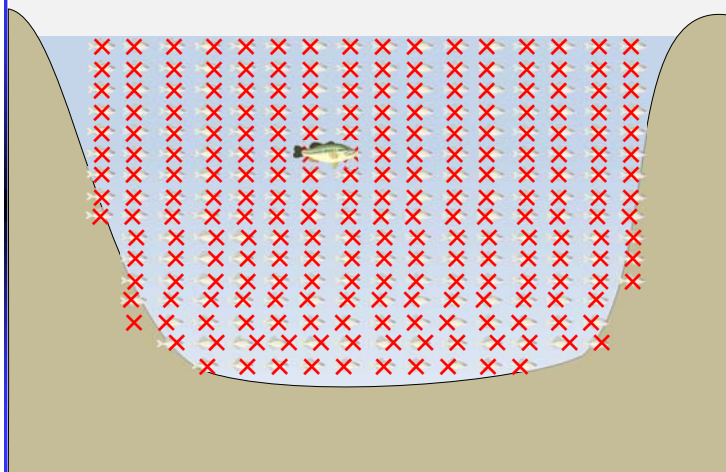
239個体の在来魚等



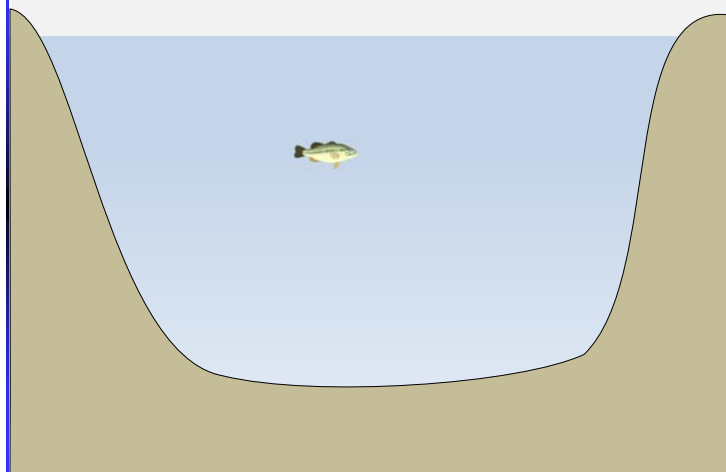
239個体の在来魚等



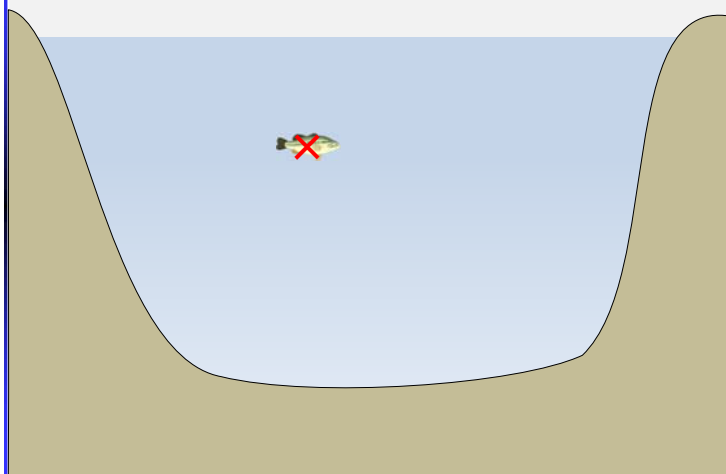
239個体の在来魚等



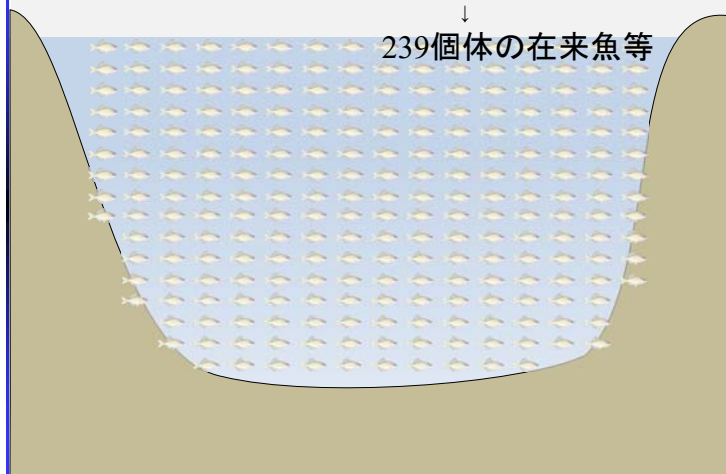
239個体の在来魚等 → 1個体のオオクチバス



239個体の在来魚等 → 1個体の~~め~~オオクチバス



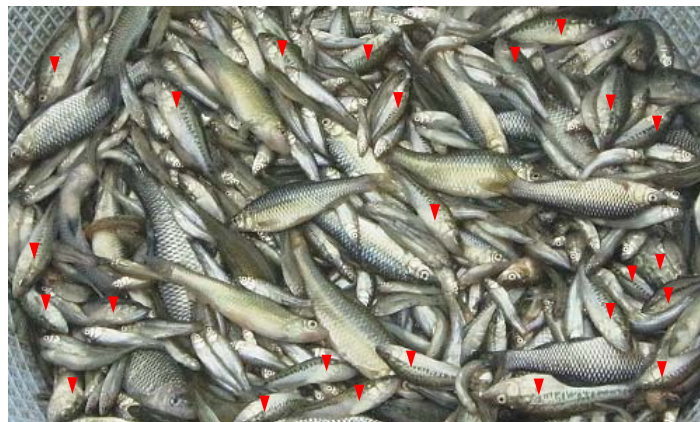
239個体の在来魚等 → 1個体の~~め~~オオクチバス



2004年7月



2013年7月



2022年7月

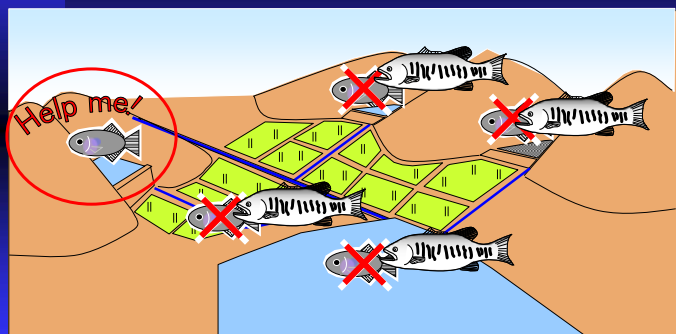


2022年7月

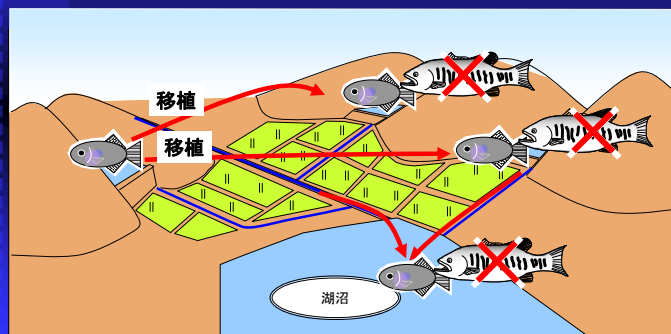


生息域の縮小

田園周辺の魚類は、さまざまな要因により、
ため池や水路などの限られた水域に追い詰められている。



ため池の管理(池干し)を行って
外来魚の駆除や環境改善をし、
移植活動を行って、地域の自然を再生する。



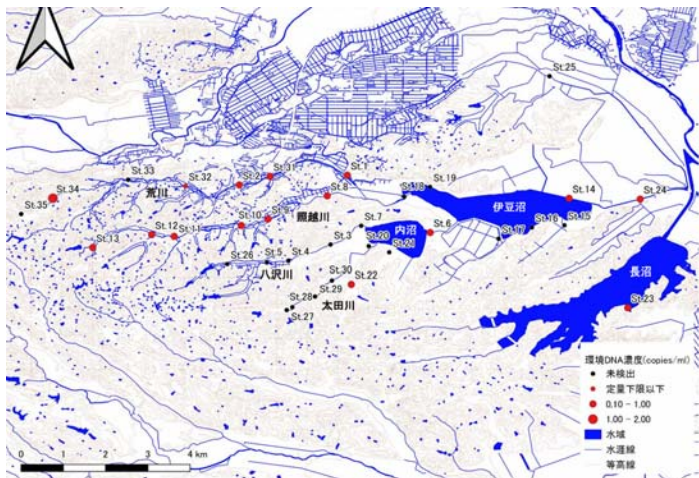
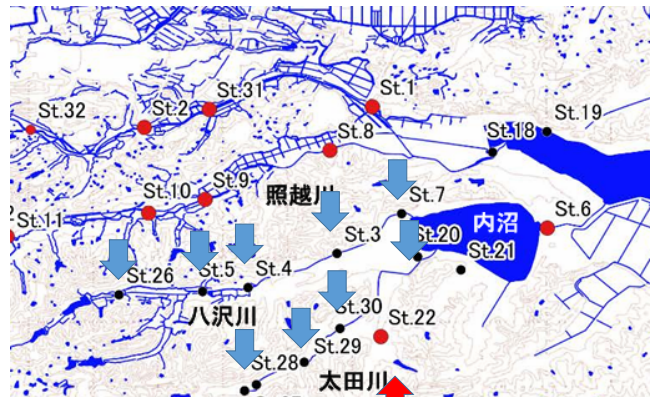


図3 各採水地点における環境DNA濃度（伊豆沼周辺）



ため池で駆除すれば流域全体の生態系回復が進む



「ため池の自然を守る」
～伊豆沼・内沼周辺での活動から～

藤本泰文
公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

ため池の自然とは

ため池と外来魚問題

駆除によって自然を未来へ

ため池で駆除すれば流域全体の生態系回復が進む

「ため池の自然を守る」
～伊豆沼・内沼周辺での活動から～

ため池の自然とは

ため池は水辺の生物の貴重な生息地

ため池と外来魚問題

ため池は身勝手な放流行為で壊されてきた

駆除によって自然を未来へ

ため池で駆除すれば流域全体（地域）の生態系回復が進む